

会 議 議 事 録

1 会議名	平成28年度 第2回 長岡市障害者施策推進協議会
2 開催日時	平成29年3月23日（木曜日） 午後3時30分から午後5時頃まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員) 阿部委員 池野委員 加邊委員 斉木委員 佐々木委員 土田委員 沼田委員 長谷川和明委員 藤田委員 本田委員 丸山委員 吉田委員</p> <p>(事務局) 福祉保健部長 福祉総務課長ほか関係職員 福祉課長ほか関係職員 学校教育課課長補佐 子ども家庭子ども家庭センター相談係長 保育課課長補佐 長岡市社会福祉協議会 介護サービス課長</p>
5 欠席者名	<p>(委員) 石川委員 小田島委員 嶋田委員 高橋委員 長谷川剛委員 平石委員 村山委員 横田委員</p>
6 議題	<p>(1) 長岡市障害者生活実態調査の報告について (2) 第4期障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況について (3) その他</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉総務課課長補佐	皆様、本日は年度末のお忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。これより平成28年度第2回長岡市障害者施策推進協議会を開会いたします。

委員長	<p>本日は石川委員、小田島委員、嶋田委員、高橋委員、長谷川剛委員、平石委員、村山委員、横田委員、以上の8名の皆様が都合により欠席でございますのでご報告させていただきます。また商工会議所の長谷川和明委員が少し遅れて来られるとご連絡をいただいておりますので合わせてご報告をさせていただきます。始めに資料の確認をさせていただきます。事前に皆様のところにお送りしました資料として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料 No. 2 - 1 ・ 資料 No. 2 - 2 <p>また、本日机上に配布させていただきました資料といたしましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 No. 1 ・ 委員名簿 ・ 配席図 <p>以上でございます。皆様、お手元がない資料はございませんか。それでは早速議題に入りたいと思います。</p> <p>ここからの進行は委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。</p> <p>みなさん御免下さい。あと1週間で、今年度が終わろうとしています。お忙しい中でございますけど、第2回障害者施策推進協議会をさせていただきます。昨年4月に障害者差別解消法が施行され、色々進んできて、ある意味で前向きな形ができつつある時に、昨年の夏、神奈川で驚愕する事件がございました。そのような中で、この施策を推進していくこととはなんだろうかとつくづく感じるものでございます。あつてはならない、怒りを覚える事件でございました。</p> <p>今日は第2回目でございますし、お聞きしますと、今回、役員任期が3年間ということで最後になりますけれど、進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>それではこれから進めて参ります。本日は最後に皆様からお話をいただくのと含めまして17時には終わりたいと思っておりますので合わせてよろしくお願い致します。それでは議題1、長岡市障害者生活実態調査の報告について事務局から説明をお願いしたいと思</p>
-----	--

<p>福祉総務課長</p>	<p>います。よろしくお願い致します。</p> <p>長岡市障害者生活実態調査は昨年9月から10月にかけて実施したものでございます。目的は29年度に策定いたします第5期の障害者基本計画、障害福祉計画の基礎資料とするものでございます。結果の詳細については、後日委員の皆さまに報告書を送らせていただきます。本日はその結果の概略について、集計分析業務を委託しております、長岡大学からご報告いただきます。それではよろしくお願い致します。</p>
<p>長岡大学</p>	<p>こんにちは、お手元の資料1に沿って説明したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>(資料N o 1に沿って説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。生活実態調査ということで、長岡大学の方から身体障害、療育の関係、精神障害、そして障害児の小学校、中学校、高等学校と非常に細かく、障害別等々も含めて5000近い数字を分析していただきました。大変ありがとうございました。</p> <p>10分ぐらい、感想や質問などいただければと思いますが、はい、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>大変凄い調査をしていただきありがとうございました。大変な集計だと思えますし、これがまた計画に反映されていくんだと思えます。大変貴重な調査だと思えます。ただお聞きして、私の場合は視覚障害でして、改めてわかったことがあるんですけど、正直言います、この膨大な調査の中から一体何が見えてきたのかなという事を逆にお聞きしたいなと思っておりました。いま調査をお聞きいたしますと、対前回調査比でこうなったという、結果的な数字をたくさん並べていただきましたが、私は例えば障害がない一般の皆さんの生活実態と比べてどうなのかと、例えば就労の問題、施設入所の問題など、なかなか単純に比較できないことはたくさんあるかと思えますけど、それらと比べて障害も持った方の生活がどうなのかということと比較する必要があるのではないかと思います。あるいは長岡市が全国と比べて一体どこが進んでいて、どこがまだまだ手つかずの状態なのかと、あるいは遅れているのかということをお知らせ</p>

にしていかないと、このせつかく貴重な調査が生きていかない、あるいは今後の計画に反映されていかないのではないかということをお聞きしながら感じておりました。分析はこれからだと思いますが、大事なはその辺じゃないのかという事が1つでございます。それから2点目ですが、身体障害、それから知的、精神と3つの障害に分けていろいろ調べていただきました。私は身体障害に属しておりますので、このところを注目してお聞きしてはいたのですが、精神と知的の皆さんは細かく分かれることはないと思いますが、身体の場合は視覚障害、肢体障害、それから聴覚障害といういろいろあります。全く生活の実態や就労の実態が違うわけなんですね。もちろん障害が違いますから、これを身体障害1本とひとくくりで結果が出るのかなと感じました。就労の問題なんかとしましても、肢体障害の方と視覚障害では全く違いますね。もちろん仕事ができる、できないっていうのもありますけど、これを3障害に分けて結果が出るのかどうなのかというのを、お聞きしながら感じておりました。最後3点目ですけど、差別の問題で、今年から新しく入ったものだとお聞きして、大変ありがとうございました。この差別の問題ですが、意外と差別はないんだと、ここだけの数字ではそのように感じました。これも先ほど申しましたように、全国的に比べるとどうなのかということは、これだけではなかなか判断できないですね。それと、2月に自治体の職員の皆様、主に都市計画の分野の皆様の街づくりにあたってですね、障害を持ってる皆さんがいます。どういふことで困っていて、どういふ街づくりを望んでいるのかということをお聞きして、トモシアで県内の職員の皆様がお集まりの時にお話させていただきました。私の独断と、イメージだけでお話しするのも申し訳ないなと思ひまして、せつかく良い機会を与えていただいたものですから、いろんなところに呼びかけて、身体障害ですけどアンケートを取らせていただきました。意外とまだ差別を感じているという方がいると同時に、新しく4月からスタートした障害者差別解消法について、まだまだ普及されていないということが1つです。それからまずは障害者自身が何をもちて差別と思ひているのか、あるいは差別を自覚しているのかということが問題でして、その辺が数字からはなかなか見えてこないなということが私の印象でした。せつかくの素晴らしい集計でございましたので、これを何かにか活かす方法はないのかなという思ひで意見を述べさせていただきました。以上です。

委員長	<p>3点ほどご意見ということで、お話されましたけれども、何か事務局の方、感じるがありましたらひとつお願いします。</p>
長岡大学	<p>はい、障害別のお話がありました。今回は障害別には3種類しかやりませんでした、実際は身体障害者の中でも視覚、聴覚、言語、肢体不自由、内部という形に分かれております。特に就労で困ることなど見ますと、特に困っていないという数字が一番低いのは視覚障害者の方で25.9%ぐらいです。本当は困ってるということなんですが、そのような数字が出ています。全然困っていないよというのは、逆に内部障害的な人で障害別に見るとそのような結果でした。今回出し切れなかったということもありますので、詳しい集計をすれば出てくる形になっております。</p>
委員長	<p>委員会でございますので、委員の中でいまのお話を聞いて、何か感じたことはございませんか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>本当にたくさん資料をありがとうございます。大変だったんだろうなと思います。今回私がとても興味を持ったのは、精神障害者の手帳の取得が低学年に増えているんですね。そして今まで中学校、高等部になかった数字がかなり高く出てきています。そして自分の親の会の会員もすごく精神保健手帳の取得が大変高くなっているんですね。凄く整合するんだなと今回感じました。精神保健手帳を取得する時に、発達障害の子どもたちがどの程度、精神保健手帳を取得しているのかというパーセンテージはわからないものかと県の会議でもよく言われてるんですけど、なかなか出てこなくて、もしわかりましたら、長岡市の精神保健手帳の中で発達障害がどの程度の取得率があるのか知りたいんです。なかなか全国的にもこれは出てこないのも、もしわかるようでしたらお願いしたいのと、児童発達のところ、児童発達支援の割合がかなり高くなっていますが、放課後デイサービスが主流になっているのかの確認です。私からは以上です。</p>
福祉課長	<p>はい、手帳の取得の件につきましては、残念ながらそういう統計は私どもも持っておりませんのでわかりません。</p>

委員	<p>これは実は歴史的な問題がありまして、障害や知的の方はかなり歴史が古くて、手帳の基準がはっきりしているのですが、精神障害の場合はどこまで精神障害にいくかっていうのがあって、本人は大丈夫だと思って申告しないので、家族や周りが全てするわけです。実際の精神障害の方は人口から言えば何割というレベルでいますけど、手帳を持っている人はおそらく数パーセントなので、大部分が持っていないです。持つための基準というのは、診断を受けてから何年か経ってから申請できるんですが、通院している人たちはほとんど持っていないです。だからデータがないのが現実でして、精神障害のデータを取るのは至難のわざです。</p> <p>発達障害とかそっちの分野の研究は進んでいますので、おおざっぱなのは出できてますが、精神障害とまとめるとおそらくデータはないです。</p>
委員長	<p>基準が非常に難しいということですけど、もしデータの中で、出るものがあって、出すのがかまわないということであれば、これから出していただければと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>先ほどの報告の中で、就学前や小学校、中学校等の中でいろんな結果が出てましたけれど、発達障害や精神障害というのは先天的なものもあれば後天的というか、小学校の途中で気付くようなこともあるんじゃないかと思っているんですね。そうなった時に、小学校から中学校に上がる時に、そういう方たちの引き継ぎというか、先生間の連絡のやりとりはあると思うんですけど、そうは言っても入っちゃうと小学校の先生は中学校に入ってからにはよくわからない状態になっているのではないかと思っています。つまり子どもは成長していくので、トータルで見てくれる何か仕組みというか制度があるのかないのかっていうのが気になります。</p>
委員長	<p>トータルとして児童を見てくれる仕組みがあるのかないのかということですが、何かわかる方いらっしゃいますか。</p>
学校教育課課長補佐	<p>はい、小学校から中学校への就学の際には、小学校と中学校の先生方が保護者も含めまして、よく相談をした上で、申し送り事項と</p>

	<p>ということで、個々で対応させていただいている状況があります。また、就学前から全員ではないですが、ご本人のすこやかファイルと言って、どういったサービスを受けてきたかとか、お薬手帳のようなイメージで、小さい時からのいろんな情報を1つにまとめたものをお持ちの方は、それを利用しながら学校が変わったりするタイミングで情報共有を図っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。それは大人になってからもずっとあるものなのか、学校を卒業すると終わりなのかどちらですか？</p>
<p>学校教育課課長補佐</p>	<p>教育委員会の方では、小・中の引継ぎはいま言った状況なんですけど、中学校をご卒業されて、高校ですとかさらにその先へはどういった状況で引き継がれているのかというのは、いま正確にお答えができないです。</p>
<p>委員</p>	<p>すみません、私がお答えします。発達障害の件で、先日県で会議があったのですが、いま長岡市がやっているすこやかファイルというのは、本来ならば一生涯継続的に持つファイルです。長岡市の場合、特別支援学校の高等部に進学された方は全員ファイルを持参しています。また普通の高校に行かれた方でも、必要であれば作ることができます。なお且つ、就労になった場合も、それを持って就労先とコンタクトを取ることになってます。現在、大学の方は、国立大学は義務化になりましたので、必ず差別解消法の絡みから合理的配慮をしなければならぬので、学校の支援室が設けられています。そこでもそれを活用することができますし、支援することができます。県としては、特別支援教育の絡みから、平成29年度は、普通高校の通級指導教室のモデル授業を検討されています。平成30年度からは実施高校ができると思います。モデル高校になるのかわかりませんが、29年度はモデル高校として、国は30年度から、特別支援教育の通級高校を考えていると思うので、相談支援ファイルは一生涯持つものというのが前提となっています。</p>
<p>委員長</p>	<p>たしか、そのすこやかファイルは長岡が発祥と言えればおかしいですけど、その方のライフサイクルというか、幼児から始まってずっと、生活そのものをトータル的に見てくれるような形で、それを活かしながらということで、たしか長岡が5、6年前でしょうか。</p>

委員	<p>長岡のすこやかファイルというのは、県のモデル事業になったものなんです。たぶん10年弱まではいかないと思いますが。</p>
委員長	<p>ということで、すこやかファイルをずっと活かしながらやっているということでございます。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>私は病院で、発達障害を見ているんですが、やはりすこやかファイルを持ってる方たちというのは現在は非常に少ないです。特別支援学校に行かれています方たちはそれをお持ちなんですけど、普通の県立高校、あるいは通信制の高校に行かれています方たちはなかなか持っておらず、学校の中で浮いたような存在になって、初めて病院に来られるというケースが多いですね。ですので、まだまだ発達障害のケースというのを把握していくには、乳児健診のところから、きちんと漏らさずにやっていかなければ、なかなか正確な数字は得られないのかなと思いますし、またそのシステム作りは役所の方で頑張っていたきたいなと思います。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。今度の第5期の中で、いまの意見を活かしながら充実していければと思います。良いご意見をいろいろありがとうございました。ずっとこのまま進めたいと思うんですけど、次もありますし、最後にまたみなさんのご意見をいただければと思いますので、それでは次にいきまして、第4期障害者基本計画・障害者福祉計画の進捗状況について事務局からお願いします。</p>
福祉総務課長	<p>それでは、第4期障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況についてご報告させていただきたいと思います。まず私の方から障害者基本計画部分を、続きまして、福祉課長の方から障害福祉計画部分を説明させていただきます。事前に配布させていただきました資料N○2-1に沿ってお話させていただきます。なお資料N○2-2には個別の事業の進捗状況を数字等で記載しておりますので、必要に応じてご参照ください。それでは資料N○2-1をご覧ください。</p>

福祉課長	<p>(資料N o 2 - 1 に沿って説明)</p> <p>それでは、障害福祉計画についてご説明させていただきます。</p>
委員長	<p>(資料2 - 1 に沿って説明)</p> <p>課題と取組みとその方向性のお話でございました。よろしいでしょうか。細かい数字については資料の2 - 2 に載っておりますので、そちらに実績、評価というのも出ていますので、また見ていただければと思います。</p> <p>はい、質問どうぞ。</p>
委員	<p>障害者基本計画の部分なんですけど、その中で、高齢者の福祉送迎サービスや小地域のネットワークというのがあって、少し活発になってきているということなんですけど、これは長岡といっても非常に広い地域ですので、街と山間部では同じように伸びているものなんでしょうか。それとも、まだ差があるということなんでしょうか。それに対して何か考えがあるのかということをお聞きしたいです。</p>
社会福祉協議会介護サービス課長	<p>福祉送迎サービスにつきましては、やはりニーズに対して若干対応できてない部分が旧長岡市内にもございますし、同様に支所地域も同じような形になっております。ハートカーの運転手のボランティアさんを、ボランティア大学であったり、いろんな形で養成はしておりますが、まだまだ不足している状況になっております。小地域ネットワークにつきましては、逆に支所地域の方が場合によっては活発なところもあつたりします。もちろん長岡地域も一生懸命やっておりますが、若干地域の差というのはどうしてもありますが、概ねどの地域を見ても、比較的活発に取り組んでおります。</p>
委員	<p>ありがとうございました。医師会で在宅医療のネットワーク作りを進めているところなので、そういったいきさつも大きく関連してくると思うので、それを是非一歩ずつ進めていただきたいなと思います。</p>
委員長	<p>はい、合併地域も入れまして地区が4 1 地区で、そこに福祉会、</p>

	<p>福祉コミュニティーというのを作って、今ほどの福祉送迎サービス、あるいはボランティア銀行だとか、その他含めていろいろやっているわけですし、いまのお話を聞いて、社協の方も進めていくと思います。またその時はよろしくお願いします。</p> <p>では、次に移らせていただいてもよろしいでしょうか。質問や言い足りないことは次のところでお願いしたいと思います。(3)のその他、事務局の方から何かございますでしょうか。</p> <p>では次のプログラムに移っていきたくと思いますが、先ほどお話をいたしました、委員の任期がこの3月31日で満了ということになりますので、皆さんから一言ずつですね、お話をさせていただければと思っておりますのでよろしくお願いします。感想でも良いですし、言いたいことでも何でも結構です。</p>
委員	<p>任期の途中で異動になって、病院に移りまして、現場ではなくなるので感覚がずれるかなと思っていたんですが、こちらでいろいろお話を伺って、それをまた病院の方に持ち帰って、診療内科等もありますので、患者さんのご相談とかそういうところで少し情報提供できたので、継続させていただいてよかったなと思っております。ありがとうございました。</p>
委員	<p>発言しそびれるというか、もやもやしながら言えないことがあったんですけど、実態調査の中で精神の方なのですが、就労もできない人たちが半分近くいるという実態。家の中に引きこもってというか、どこにも繋がらないでいる人たちが半数近くいるという実態は凄く大きいと思います。先ほど手帳の話もありましたけれど、手帳というのは、実際に仕事に就こうと思った時に必要となる場合があります。そういうときに、知的の手帳を取ろうか、それとも精神の手帳を取ろうかと迷うということがあるんですけど、それを含めて、仕事に就こうという意欲を持つ以前の人たちの自立です。彼らが自分の意志で自分の人生を生きていこうという気持ちになるための掘り起こしなどが、前提として大事ではないかと思っております。いろいろなサービスがあっても、前向きに生きていこうという気持ちが育たない限り、いろいろな問題は解決しないと思っております。相談支援も大事になってきますが、当事者自身の自立への意欲作りみたいなものを見つけないなと思って見てましたが、結局見つからず、そこら辺りを少し考慮していただきたいなと思いつつながら</p>

委員	<p>今日は参加させていただきました。ありがとうございました。</p> <p>実は2、3年前から、訪問介護、訪問看護、職業訓練等いろんな相談部門を扱うことになりまして、それまでは病院の管理部門が中心だったんですけど、おかげでほとんど違和感なく、昔からやるような顔して仕事ができるようになりました。大変役に立っております。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私自身、意見を何も述べられないまま今日まで来てしまったんですけど、この会議に参加させていただいたおかげで、行政の方から多方面に渡ってサポートしていただいて、勉強させていただきました。これからもよろしくお願い致します。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私自身20年前、市役所の方の仕事をしていたんですけど、去年の4月からいまのところに就きましたものですから、今までとは逆の立場で様々な活動を行っております。</p> <p>特に身体障害者だけではなくて、他の精神であったり、あるいは知的であったりという部分のお話が聞けて勉強になったと思えました。これからさらに勉強させていただく中で、頑張っていきたいと思えます。今日は本当にありがとうございました。</p>
委員	<p>長くこの会議に出させていただいて、行政から出された施策が、ひとつひとつ積み重なって実績になってきているなということが一番感じています。一般就労もそうですし、基幹相談センターもそうですし、グループホームの課題も出てきていましたけど、デジタル化していくことによって、どこまで達成できているのかが本当によくわかるようになってきたし、集まることでいろんな意見を集約し、建物をひとつひとつ作るような形で、前に進んできてるんじゃないかなといつも関わっていて感じています。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私自身もたくさん勉強させていただき、大変ありがとうございました。本来、就労支援ということで役に立たなければならないんだろうなと思いつつも、なかなか思うようにいなくて申し訳なかったです。企業も長岡ですと、中小企業、零細企業が多いものですから、それぞれいろんな課題を抱えて、人材確保をしているわけで</p>

委員	<p>すけど、なかなか障害者雇用まで回らないというのが実態じゃないのかなと思っております。そうは言いながらも、非常に大事な問題ですので、経営者に働きかけるとか、法的な規制やルールという以上に、意識の面で働きかけが大事だと思っておりますので、また出来る限り支援していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくをお願いします。</p> <p>前期からこの会に関わっているんですけど、仕事の方の兼ね合いもあって、回数としてはあまり出ていないんですけど、30年間精神医療に携わってきて、ここ数年の長岡市の進捗状況が凄いなというのは臨床で見て感じています。というのは知的の人たちの診療をしていくわけですけど、グループホームはかなり伸びてきているし、就労支援型の事業所もたくさん出てきたりということもあって、かなり底が厚くなってきたなという印象を持っています。ですけど、まだまだ現場では私らがご本人やご家族と会ったりすると、まだわからない、どうしたらいいんだろう、私が死んだらこの子たちどうするんだろうと、そういう疑問やお話が出るんですけど、やはりその心配を払拭するためには、皆様方、市の方のお力を発揮していただき、我々の意見を参考にしていただきながら、これから事業の方を進捗していただきたいなと思います。以上が私の意見でございます。よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>私は前任者の異動により今年度だけ務めさせていただきました。大変勉強させていただいたと思っております。私どもは柏崎市も含めた中越全体の自立支援協議会の事務局を担っております。中越では、長岡市さんの取り組みと連携させていただきながら、圏域の取り組みを進めていきたいと思っておりますので、是非今後ともよろしくお願い致します。また委員の皆様にも、今後大変お世話になると思っておりますがよろしくお願い致します。</p>
委員	<p>今月いっぱいまで終わりということであつという間でした。みなさん長い間ご苦勞様でした。私は今までいろいろな障害者、例えば身体障害、視覚障害、知的障害等、障害については少しわかっていたが、精神障害については今回いろいろお聞きして少しずつわかってきました。いままで本当にありがとうございました。</p>

委員	<p>いろいろ振り返っておりますが、この会に出させていただいて、普段お話できない方とお話させていただいて、良い機会を与えていただいたなと思っております。今日ご報告したいことがありまして、こういった会を通じて、横の繋がりがとても強くなったと思っております。直接的なきっかけは、この4月からの障害者差別解消法ではありましたが、今日のこういった会議がきっかけになりまして、実は明日ですが、全ての身体、知的それから精神のそれぞれ障害を持ったみなさんの障害者団体の発足式があります。障害者団体が発足して一体となって、すべての障害者の悩みをそれぞれ話し合おう、そして出来ることは自分たちでやろうということでスタートすることになっております。ご報告がてら、これまでの感謝を申し上げたいと思います。大変ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。皆さんのご意見が、この会の最後のまとめになったかなと思いますし、横の繋がりを作りながら、また長岡の障害福祉を皆さんとともに高めていきたいと思っておりますし、市民の皆さんにもお話をし、進めていけたらなと思っております。大変3年間ありがとうございました。では、このマイクを事務局の方にお返しします。大変ありがとうございました。</p>
福祉総務課課長補佐	<p>皆様、大変ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、副市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
副市長	<p>皆様、お忙しい中、今日は大変ありがとうございました。各委員の皆様から、最後に総括的にご挨拶をいただきましたが、この3年間、我々どもの障害者施策推進協議会ということで、いろんなご意見をいただきまして、少しずつですが障害者の施策に反映させていただいたかなと思っております。今日いただいたご意見ですが、若干私の方からもコメントさせていただこうかと思っております。生活実態調査について、先ほど概略のご報告をいただきましたが、ご意見にもありましたように、その中で長岡市の現状をもう一段深掘りをして、どういった課題があるかということ、また長岡大学にもご協力いただきまして、我々行政の方としても、今後の施策に生かせるデータの整理をしていきたいなと改めて思いました。またこれに限らずですが、実態というか、現実の生活の中に不足した問題だなということ、日頃から改めて心掛けて、具体的な問題点をはつき</p>

りさせていくところから取り組んでいく必要があるなど思った次第でございます。それと個別の話では、すこやかファイルでございますが、長岡は先駆的にやってきたという認識ではいたんですが、お話を聞く限り、ちょっと先行きが寂しい感じというか、いろいろ問題がありまして、ここは私ども福祉保健部または教育委員会の管轄ですので、もう一度状況を把握し直した上で、発達障害の方のフォローアップということでは非常に重要なことだと思いますので、もう一度強化できるように検討していくようにしていきます。それから、移動支援というか、交通の面であります。地方都市では共通の課題ですが、これは長岡市全体でも非常に解決策は見出しにくい問題ではございます。お金さえあれば、バスやタクシーなどの交通機関を活用して、かなりのことはできるのではございますが、いろんな検討を私もしてるのですが、なかなか経費がかかってしまうという面がありまして、ご利用者さんの負担と公共側の負担、そしてまた事業者のノウハウの提供というところで、バランスを取りながら、ご質問にもありましたように、中山間地域ですとか、特に交通が厳しくなってるところの移動の手段を、これは障害者の方に限らずですが検討していきたいと思っております。高齢化も進んでおりますし、そこを確保するというのは非常に悩ましい問題でございまして、今年度の予算査定の中でも、市長を筆頭にずっと腕組みをして悩んだテーマでございまして。そうはいっても、ひとまず、例えば中之島地域で地元のタクシー業者さんと共同で、いわゆるデマンドタクシーの仕組みをやっていこうということで予算をつけさせてもらっております。そんな中で、各地域ごとに特性がありますので、それに合わせた交通の仕組み、あるいは移動支援と広い範囲で障害者の方の移動も含めて続けていきたいと思っております。最後にもう1点ですが、委員からもご意見がありましたように、地域の中で引きこもらざるを得ないような、あるいはそういう環境の中で、なかなか社会的な参加が難しいという方々が、まだ多々いらっしゃるということですので、こういった方々の高齢化も含めまして、もう一度地域単位で、福祉から子育て、あるいは生活支援、そういった総合的な視野で、それぞれの関係の機関、団体の支援がありますが、そういった方々を、今度地域単位で、もう一度連携を取るような仕組み作り、そこにまた行政もどういった形がいいかということに入りながら、地域福祉の地域版といいますか、障害者施策、あるいは高齢者福祉もありますが、そういったいわゆる総合的な、それぞれ

<p>福祉総務課課長補佐</p>	<p>の分野ごとの計画を横串にしたような視点を、来年度に障害者基本計画と高齢者計画が予定されていますので、その中で、横串の視点を入れていきたいなと思っております。いろんな課題はありますが、少しずつ進んでいる部分もありますので、私どももひとつひとつ、皆様方の意見をいただきながら、これからもしっかりと施策を進めて参りたいと思っておりますので、ここで協議会としての任期は終わりますが、また改めてみなさんをお願いしたいと思っておりますので、今後とも福祉施策につきまして、ご協力いただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが最後の締め挨拶とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。</p> <p>本日は長時間に渡りまして、審議をいただき大変ありがとうございました。予定しておりました時間を超過しましたことをお詫び申し上げます。それから、お車でお越しの方で、まだ無料認証がお済みでない方につきましては、事務局の方にお声掛けいただきたいと思っております。それでは、本日はこれで閉会とさせていただきます。皆様、3年間大変ありがとうございました。</p>
<p>8 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>